

平成24年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年11月9日

上場会社名 横浜ゴム株式会社
 コード番号 5101 URL <http://www.yrc.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役会長兼CEO (氏名) 南雲 忠信
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 宮田 哲史
 四半期報告書提出予定日 平成24年11月13日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト向け)

上場取引所 東 大 名

TEL 03-5400-4520

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年12月期第3四半期の連結業績(平成24年1月1日～平成24年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年12月期第3四半期	393,066	—	26,299	—	25,457	—	17,409	—
23年12月期第3四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 包括利益 24年12月期第3四半期 18,518百万円 (—%) 23年12月期第3四半期 一百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年12月期第3四半期	51.96	—
23年12月期第3四半期	—	—

平成23年12月期は、決算期変更により、9ヶ月決算となっております。これに伴い、平成23年12月期第3四半期連結財務諸表を作成していないため、平成23年12月期第3四半期の連結経営成績及び平成24年12月期対前年同四半期増減率については記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年12月期第3四半期	497,151	182,509	35.5
23年12月期	501,786	168,286	32.3

(参考) 自己資本 24年12月期第3四半期 176,426百万円 23年12月期 162,176百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年12月期	—	3.00	—	4.00	7.00
24年12月期	—	8.00	—	—	—
24年12月期(予想)	—	—	—	10.00	18.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年12月期の連結業績予想(平成24年1月1日～平成24年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	576,000	—	49,000	—	44,000	—	30,000	—	89.54

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

平成23年12月期は決算期変更により9ヶ月決算となっておりますので、平成24年12月期の連結業績予想の対前期増減率については記載しておりません。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

24年12月期3Q	342,598,162 株	23年12月期	342,598,162 株
-----------	---------------	---------	---------------

② 期末自己株式数

24年12月期3Q	7,569,381 株	23年12月期	7,548,581 株
-----------	-------------	---------	-------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年12月期3Q	335,037,789 株	23年12月期3Q	— 株
-----------	---------------	-----------	-----

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続きの対象外であります。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の業績予想につきましては、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき当社が作成した見通しであり、実際の業績は、今後の様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

【添付資料】

[添付資料の目次]

1. 当四半期決算に関する定性的情報	
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項	
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表等	
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報等	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当社は、前連結会計年度より決算期を3月31日から12月31日に変更しております。これに伴い、平成23年12月期第3四半期連結財務諸表を作成していないため、業績の状況の比較は記載しておりません。

当第3四半期連結累計期間(平成24年1月1日～平成24年9月30日)における世界経済は、欧州債務危機や新興国の成長の停滞といった翳りが見られ、特に、中国では日本製品の不買運動が影響して需要が冷え込みつつある等、弱含みに推移しました。タイヤ業界も、海外の景気動向の影響を受け、需要が一服しております。

こうした状況のもと、当社グループは、引き続き、魅力ある商品や販売施策の展開、ならびに経費削減等の内部改善を進めてまいりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の連結売上高は3,930億66百万円、連結営業利益は262億99百万円、連結経常利益は254億57百万円、連結四半期純利益は174億9百万円となりました。

各事業の業績を示すと、次のとおりであります。

タイヤ事業の売上高は3,082億30百万円で、当社の総売上高の78.4%を占めております。国内新車用タイヤは、販売量・売上高ともに好調でした。エコカー向け低燃費タイヤの販売が好調だったことや新型車への新規装着サイズが増加したことが寄与したものであります。国内市販用タイヤも、堅調に推移しました。特に、低燃費タイヤ市場への浸透が進んだため、BluEarth(ブルーアース)ブランドの各タイヤの販売が伸張しました。海外販売は、新車用については、当社製品の性能が高く評価され、新車装着が増加したため、好調となっております。その一方、市販用は、低調に推移しました。なお、当社は中国国内における反日デモの直接的な被害を受けることはありませんでした。この9月、当社は、乗用車用スタッドレスタイヤ「iceGUARD 5(アイスガードファイブ)」を日本とロシアで同時発売しました。この製品は、新開発のコンパウンドと非対称トレッドパターンの相乗効果により「YOKOHAMAの最高傑作」というべき氷上性能を実現しており、好評を博しております。

工業品事業の売上高は675億42百万円で、当社の総売上高の17.2%を占めております。ホース配管事業は、中国での建機用ホースの需要が低迷した一方、北米での自動車用ホースが好調で、総じてみれば堅調に推移しました。工業資材事業は、土木商品等の需要が減少し、やや低調となりました。ハマタイト事業は、建築用接着剤が低調だったものの、自動車用接着剤が伸び、堅調に推移しました。電材事業は、主なユーザーである日系携帯電話メーカーの需要が一服しました。当社は、これらスマートフォン・携帯電話向け蒸着コート材に加え、タッチパネル向けハードコート、さらに新しくプリンターやスピーカーに使用する接着剤を開発し、積極的に市場の開拓を図っております。

その他(航空部品事業・スポーツ事業等)の売上高は172億94百万円で、当社の総売上高の4.4%を占めております。航空部品事業は、市場が弱含みであったものの、売上の堅調を維持することができました。また、引き続き、収益構造の改善に取り組んでおります。スポーツ事業は、市場で激しい価格競争がくりひろげられており、厳しい環境にあります。しかし、引き続き積極的な営業活動に取り組み、お客様のニーズにお応えしてまいります。こうした中、当社は、9月にゴルフクラブの新シリーズ「iD nabra(アイディー・ナブラ)」を発売しました。ナブラシリーズは、ドライバーからアイアンまでヘッド設計のバランスを統一し、シリーズを通して飛びと打ちやすさの連続性を持たせています。また、逆三角形に設計された(ナブラ設計)高精度な偏肉フェースにより、「iD nabra」ドライバーは、当社従来製品と比較して、1.5倍の弾きエリアを実現いたしました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期末における総資産は4,971億51百万円となり、前期末に比べ46億35百万円減少しました。これは、主に売上債権の減少によるものです。

負債は3,146億41百万円となり、前期末に比べ188億58百万円減少しました。これは、主に商業ペーパー、仕入債務が減少したことによるものです。

純資産合計は、1,825億9百万円となり、前期末に比べ142億23百万円増加しました。これは、主に四半期純利益を計上したことによるものです。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

通期の業績予想につきましては、前回公表値（平成24年8月10日公表）を修正しておりません。

(注)上記の業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき当社で判断したものであり、実際の業績は予想と異なる可能性があります。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計処理方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 【四半期連結財務諸表】

(1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	21,750	13,122
受取手形及び売掛金	142,131	120,907
商品及び製品	49,357	64,712
仕掛品	7,311	8,454
原材料及び貯蔵品	19,132	19,035
その他	18,953	23,865
貸倒引当金	△1,160	△1,189
流動資産合計	257,477	248,907
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	58,328	57,196
機械装置及び運搬具（純額）	62,840	64,576
その他（純額）	53,439	55,409
有形固定資産合計	174,608	177,182
無形固定資産	1,588	1,776
投資その他の資産		
投資有価証券	50,870	51,134
その他	17,981	18,863
貸倒引当金	△740	△714
投資その他の資産合計	68,111	69,284
固定資産合計	244,308	248,243
資産合計	501,786	497,151
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	86,961	78,379
1年内償還予定の社債	—	10,000
コマーシャル・ペーパー	9,000	—
短期借入金	89,385	90,346
未払法人税等	4,775	8,905
役員賞与引当金	65	66
災害損失引当金	89	0
その他	41,766	39,012
流動負債合計	232,043	226,710
固定負債		
社債	20,000	10,000
長期借入金	43,612	40,375
退職給付引当金	18,402	18,557
その他	19,440	18,997
固定負債合計	101,455	87,930
負債合計	333,499	314,641

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	38,909	38,909
資本剰余金	31,952	31,952
利益剰余金	117,016	130,404
自己株式	△4,753	△4,764
株主資本合計	183,125	196,502
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	11,321	11,315
為替換算調整勘定	△26,389	△25,778
在外子会社の年金債務調整額	△5,881	△5,614
その他の包括利益累計額合計	△20,949	△20,077
少数株主持分	6,110	6,084
純資産合計	168,286	182,509
負債純資産合計	501,786	497,151

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】
 【四半期連結損益計算書】
 【第3四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年9月30日)
売上高	393,066
売上原価	269,760
売上総利益	123,306
販売費及び一般管理費	97,006
営業利益	26,299
営業外収益	
受取利息	217
受取配当金	982
為替差益	377
その他	1,356
営業外収益合計	2,934
営業外費用	
支払利息	1,943
その他	1,833
営業外費用合計	3,776
経常利益	25,457
特別損失	
固定資産除売却損	240
特別損失合計	240
税金等調整前四半期純利益	25,216
法人税等	7,706
少数株主損益調整前四半期純利益	17,510
少数株主利益	100
四半期純利益	17,409

【四半期連結包括利益計算書】
【第3四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

当第3四半期連結累計期間
(自平成24年1月1日
至平成24年9月30日)

少数株主損益調整前四半期純利益	17,510
その他の包括利益	
その他有価証券評価差額金	△5
為替換算調整勘定	749
在外子会社の年金債務調整額	267
持分法適用会社に対する持分相当額	△2
その他の包括利益合計	1,008
四半期包括利益	18,518
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	18,281
少数株主に係る四半期包括利益	237

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

報告セグメントごとの売上高及び利益または損失の金額に関する情報

当第3四半期連結累計期間（自 平成24年1月1日 至 平成24年9月30日）

（単位：百万円）

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	タイヤ	工業品	計				
売上高							
外部顧客への売上高	308,230	67,542	375,772	17,294	393,066	—	393,066
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,363	67	1,431	3,123	4,555	△ 4,555	—
計	309,594	67,609	377,204	20,417	397,622	△ 4,555	393,066
セグメント利益	21,631	3,475	25,107	1,200	26,308	△ 8	26,299

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、その主なものは航空部品事業、スポーツ事業であります。

2. セグメント間取引消去によるものです。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。